

## 第19回災害対策本部員会議での知事の主な発言

### 1. 会議冒頭での知事の主な発言

- 本日14時時点で、災害関連死となった方が、昨日から6名増え、計14名となった。

孤立状態となっている集落の避難者を丸ごと金沢市以南の避難所に移送する取り組みを加速させており、

具体的には、本日、輪島市西保地区の約80名を加賀市の二次避難所（旅館）へ移送する予定と聞いており、明日以降も、天候に左右されるものの、順次、白山市と野々市市に移送することとなっている。

- これに先行して8日から開始した、1. 5次避難所（いしかわ総合スポーツセンター）については、本日14時時点で187人を受け入れており、二次避難所（ホテル・旅館）とのマッチングも進んでいる。

いしかわ総合スポーツセンターへの移送が本格化しており、今後も、1. 5次避難所の収容能力を確保していくため、明日から、センターのサブアリーナと産業展示館2号館も活用することとした。

センターのサブアリーナは約60人分、産業展示館2号館は約150人分を確保し、既に稼働しているセンターメインアリーナ約500人分と合わせて、計710人を確保する。

災害関連死をなんとしても食い止めなければならず、

- 1. 5次避難所・2次避難所等への移送と、孤立集落の避

難者を丸ごと移送するという、この2つの面からの取り組みをさらに加速させてください。

- 避難所生活の次の段階となる、被災者の応急的な住まいを確保するため、本日、輪島市・珠洲市で応急仮設住宅を着工した。

昨日、応急仮設住宅の建設場所が、津波浸水想定区域内であることについて、マスコミの方からお尋ねがあったのでお答えしたい。

4か所の応急仮設住宅のうち、3か所が該当するが、建設地の選定は、被災地域のコミュニティをできる限り維持することを第一に、輪島市と珠洲市の要望をもとに決定している。輪島市で、キリコ会館多目的広場、珠洲市で、三崎小学校グラウンド、正院小学校グラウンドである。

また、入居者には、避難場所の周知・確認を行うなど、迅速に避難できる体制を整えることとし、今般、これらの場所での建設を決定した。

- 昨日申し上げた通り、特に甚大な被害を受けた輪島市と珠洲市は、首長直轄の相談役として、総務省からのリエゾンと県の幹部の2人を送ることとした。今般、能登町にも県の幹部を投入することを決定し、総務省からのリエゾンとの2人体制とする。

## 2. 会議最後の知事からの指示事項

- 被災地の避難所からの1. 5次避難所・2次避難所等への移送に加え、孤立集落の避難者を丸ごと移送するという、2つの面から取り組みを加速してください。

- 1. 5次避難所としての、いしかわ総合スポーツセンターのサブアリーナ、産業展示館2号館の明日の開設に万全を期してください。

1. 5次避難所は、介護等を必要とする方も多く、是非、被災者に寄り添ったきめ細かな対応をするとともに、2次避難所とのマッチングも円滑に行ってほしい。

- さらにその次の段階として、応急仮設住宅の建設を急いでください。

本日、私自身も記者会見で周知に努めたが、みなし仮設住宅や県内外の公営住宅へのマッチングを進めてほしいので、分かりやすい積極的な広報を、これからもぜひお願いしたい。

- 時事刻々と現場のニーズが変化し、新たな課題が発生する状況にあるが、国・県・関係団体の総力をあげて、スピード感を持ちつつも、きめ細かな対応をお願いしたい。

これに関して3点ほど、改めてお願いしたい。

1点目は、ボランティアにいつ、来ていただけるようにするかということを考える段階に入った。今まで人命救助、緊急物資搬送、警察、消防、自衛隊最優先でご理解いただけていると思うが、そろそろ、現地の支援のために、登録いただいているボランティアをどう現地に入れていくかということを検討していきたい。

2点目は、廃棄物の処理である。いつまでもゴミの山の中に近接して、避難所があるというのは、衛生上よくない。その処理を急いでほしい。

3点目は、そろそろ、創造的復興に向けて、絵を描き始めたい。例えば、道路や水道は今までと同じでいいのか。また、循環型の水環境システムをどのエリアで導入できるのか。強みである世界農業遺産の価値観、農林水産業の生産体制などの絵を描き、現実のものにしていく。デジタルライフライン構想も徹底的に進めなくてはいけない。政府の皆さんには、ぜひご支援をいただきたい。